

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	凍結道路にて救命資器材搬送中の職員が、資機材を落下させ自らも転倒した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	環境等を考えず両手をふさいでの資機材の搬送。
4. 体験した事例の原因・理由	人員不足

【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 8年 2月 4日 午前 7時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：凍結した下りの坂道
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	車両への収容搬送法
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[36]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[16]年、 階級[消防士長]、 同様の活動[初めて]、 任務[機関員]
○当事者B	年齢[43]歳、 勤続年数[25]年、 現場経験年数[25]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動[初めて]、 任務[車長]
○当事者C	年齢[23]歳、 勤続年数[5]年、 現場経験年数[5]年、 階級[消防士]、 同様の活動[初めて]、 任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	年齢29才 勤続7年 現場経験7年 階級消防士 任務隊員 ほか救急隊員3名

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	隊員2名救急隊員2名に傷病者の搬送を命じた。	
経過2	当事者B	当事者Aと自分で資機材の搬送をした。	
経過3	当事者A	資機材を両手のもち大丈夫です。 と応えた。	
経過4	当事者A	凍結した坂道で足が滑りそうになったので資機材を放してしまった。	
経過5	当事者A	資機材を放したことで両手が空き受傷しなかった。	
経過6	当事者B	帰署後資機材の確認以上はなかった。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：凍結道路での作業を過信していた。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について